



# 友達になろう

## BE A FRIEND

1994—95年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ビル・ハントレー
- 第2560地区ガバナー 大島 精次
- 会長——高橋 一夫
- 副会長——石橋 育於
- 幹事——五十嵐晋三
- 副幹事——松谷 晃吉
- SAA——平原 信行
- 副SAA——清水 良一
- 例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2—5—10 三条信用金庫本店内 TEL 34—3311
- 事務局——三条市旭町2—5—10 三条信用金庫本店内 TEL 35—3477
- FAX 32—7095

出席者会員数	会員 80名中 69名
先々週出席率	93.42% (前年同期 91.43%)
ゲスト	第2560地区ガバナー 大島精次殿
先週のメイクアツプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>7/13 新潟南へ 捧 賢一さん</li> <li>7/14 新潟東へ 渋谷健一さん</li> <li>7/14 新潟西へ 塚田光彦さん</li> <li>7/18 三条南へ 野村竹三郎さん、三堀正純さん</li> <li>7/19 三条北へ 野村竹三郎さん</li> </ul>
会長挨拶	高橋(一)会長

こんにちは。大島ガバナー、野村分区代理、それにローターアクトから会長の小出くん、幹事の渡辺くん、ようこそおいで下さいました。ガバナー、分区代理におかれましては、連日連夜ご苦労様です。お体にお気をつけられ、がんばって下さい。今日はご指導の程よ

ろしく願います。

今週の日曜日からフランスの22歳の青年がホームステイをしております。男の子であるにもかかわらず、食事の前後には「何かお手伝いをしましょうか?」と言って私の家内をとまどわせています。又彼にとっては日本人の食事のとり方も気になる様です。テレビを見ながら、おしゃべりもしないで10分ぐらいでおわってしまう昼食は、彼には考えられないようです。私達が子供の頃は、母親に食事中はおしゃべりをしないで食べなさいと教えられて来ました。

お客を接待する方法とか、贈り物をする習慣とか、今まで日本の習慣は貧しさを前提としてなりたっているような気がいたします。物の豊かになった現在、豊かさを前提とした物に変えていく必要があるのではないかと考えています。

話は変わりますが、元会長の新田さんが15日に亡くなられ、告別式に参列してきました。奥様より会員の皆様に、くれぐれもよろしくとのことでした。

#### 幹事報告 五十嵐(晋)幹事

◎第2560地区、地区大会事務局より

地区大会のご案内と仮登録のお願いがとどいております。

とき 10月29日(土)～30日(日)

ところ 上越文化会館

登録料 15,000円

◎国際ロータリー日本支局より レート変更のご案内がとどいております。

8月1日より1ドル100円(現行105円)

#### ニコニコBOX ¥67,000 7月20日分

第2560地区 大島精次ガバナー……¥10,000

高橋(一)さん 大島ガバナー、野村分区代理さんを歓迎して。

五十嵐(晋)さん 大島ガバナーを迎えて本日よろしく願いいたします。

野村さん 大島ガバナーを歓迎して。

平原(信)さん 大島ガバナーようこそおいで下さいました、三条クラブでは分区代理、会長、幹事、SAAとも青年会議所OBです。よろしくご指導下さい。

広岡さん ガバナーをお迎えしての懇親会を松木屋をご利用頂きまして有難うございます。お待ちしております。

外山(雅)さん 大島ガバナーを歓迎いたします。

石橋さん 大島ガバナーをお迎えして。

林さん 大島ガバナーを歓迎して。

小林(敬)さん 大島ガバナーを歓迎して。

池田さん 大島ガバナーを歓迎して。

上木さん 大島ガバナーをご歓迎申し上げます。長い公式訪問ご健康に注意されますようお願いいたします。

内山(辰)さん 公式訪問に大島ガバナーを歓迎いたします。

渡辺(宏)さん 大島ガバナーを歓迎して。野村分区代理ご苦労様です。

榎本さん 大島ガバナー様、暑いところ大変御苦労様です、宜しく御指導の程を、お願い致します。

小林(英)さん 大島ガバナーの公式訪問心から歓迎申し上げます。

滝沢さん 大島ガバナーを歓迎して。

渡辺(喜)さん 大島ガバナーの公式訪問をお祝いして。

清水さん 大島ガバナーを歓迎して。

藤田(紘)さん ガバナーをお迎えして!!

小林(正)さん 大島ガバナーを歓迎して。

斎藤(隆)さん 大島ガバナーさんを歓迎して。

丸山さん 大島ガバナーを歓迎します。

田中さん 大島ガバナーを心から歓迎して。ご指導のほどよろしくお願い致します。

寺沢さん 大島ガバナーの訪問を歓迎します。

小柳さん 大島ガバナー訪問を歓迎して。

小越さん 大島ガバナーを歓迎して。

瀬下さん 大島ガバナーを心より歓迎申し上げます。

佐藤(武)さん 大島ガバナー公式訪問を祝して。よろしく御指導お願い致します。

佐藤(吉)さん 大島ガバナーを歓迎して。

佐久間さん 大島ガバナーを歓迎します。

荻野さん 大島ガバナーを歓迎申し上げます。

五十嵐(力)さん 大島ガバナーを歓迎申し上げます。

五十嵐(昭)さん 大島ガバナー公式訪問を歓迎して。

五十嵐(寿)さん ガバナー大島さんをむかえて。

関本さん 大島ガバナーの公式訪問を歓迎して。

松谷さん 大島ガバナーよくいらっしゃいました。

外山(一)さん 大島ガバナーを歓迎して!!

船越さん 大島ガバナーを迎えて。

岩井さん 大島ガバナーを歓迎して。

佐野さん 新ガバナーをお迎えして。  
 藤田(説)さん 大島ガバナーを歓迎して。  
 五十嵐(総)さん 大島ガバナーをおむかえして。  
 高森さん 大島ガバナーをお迎えして。  
 吉井さん 大島ガバナーをお迎えして。  
 渋谷(正)さん 大島ガバナー、野村分区代理を歓迎して。  
 古澤さん 大島ガバナーのご来訪を心よりご歓迎申し上げます。  
 三堀さん ガバナーをお迎えして……。  
 斎藤(弘)さん 大島ガバナーを歓迎申し上げます。佐野勝栄会員の主催するJIMコンペで優勝させていただきました。  
 菊池さん 「知の技法」という、東大教養部のサブテキストを読みはじめました。暑い夏、アカデミックな気分で乗り切るために皆さんもどうぞ。  
 中村(和)さん ガバナーを歓迎しまして。今年三ノ町病院の前で下水道工事をやることになりました。御迷惑を掛けますがよろしくおねがいます。

……………米山ボックス ¥59,000……………

公式訪問を記念して

## ガバナー公式訪問クラブ協議会



## 大島ガバナー公式訪問卓話

三条クラブに来て、大変緊張しております。

藤田パストガバナーの前で何をしゃべろうかと色々なことをしゃべりますのでお許しを頂きたいと思います。

さきほど会長、幹事様より地場産センターを見学させていただきました。大変三条は地場産業の非常に発展している市でありますし、上越から見ても本当にうらやましい限りであります。そしてさきほど会長、幹事様と話をさせて頂きまして、ぜひ三条にもう一つロータリーを作りたいとお願い申し上げました。そうすると、人口の割に三条はロータリアンの数が多いです。確かにそうであります。先般、新潟県で初めての公式訪問で新発田、豊栄、中条と回らせて頂きました。そして豊栄と中条の違いを申し上げたいと思います。豊栄は人口が約5万、新潟のベットタウンとして緑豊かな田園地帯であります。現在のロータリアンが43名、当然1クラブであります。それから中条は町であります。そしてロータリアンの数が約60名、これも1クラブであります。人口が豊栄の半分でロータリアンの数が多い。そしてもう1つ、ロータリークラブを提唱しようと燃えています。これはただ人口ではなくて、中条は非常に企業の進出が多く、町長も大変御熱心に企業誘致されている町であります。現在クラレ等をはじめ、沢山の企業がありまして、ロータリーに入られています。人口比ではむしろ豊栄より多いと言えます。三条の地場産業から発展されて色々な企業が沢山あるので、ロータリアンになれるだろうという人口からいくと、私は13万の上越市より多分三条の方が上だろうと思います。そして13万3千の上越市が現在ロータリークラブが3つあります。1つは私のクラブが約90名、高田東クラブが75名、直江津クラブが60名弱という数で合計すると若干上越の方が多いかと思いますが、ここもようやくもう1つ作ろうという気分が出て参りまして、出来ればありがたいと思います。ぜひ曲げて、もう1つクラブを作るべく、御協力頂ければありがたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

さて、私は7/1に、ガバナーに就任させて頂きました。その前ノミニーの時に私がガバナーズメッセージを書かせて頂きました。その中でマンネリ化しているロータリー、権威主義なロータリー、あるいは、協商主義のロータリー、こういう、いつてみたらもうこれで曲げないぞ、という頑固一徹なロータリーというイメージ、そして新しい人達にそれが受け入れられるのでしょうか、という疑問を投げかけておりました。そしてこの私の引用した文章は、ロータリーの友に約1年半位前に出ておりました。福井県のロータリアンであります。最近、ロータリーの批判の記事がよく出ております。そして私が20年のロータリアン生活の中で何か心の中で蟻っていたものを、福井県のロータリアンが私の言いたいことを代弁してくれたなとこういう感情を持って文章を読みました。そしてあえて私はメッセージの冒頭に書かせて頂きました。そして私が、私の考えが間違っているというこ

とを後で知ったのであります。それはメッセージの中で公式訪問の時に皆様方に私の考えとして申し上げたいとお約束をしておりますので、その辺のお話しを先にさせていただきます。

まず3月にアメリカのアナハイム、ロサンゼルスより約1時間の所に国際協議会として出席する機会を頂きました。アナハイムは大変気候のいい所であり、ロサンゼルスより1時間の所で、ディズニーランドのある所です。最近のロサンゼルスはオレンジ軍と言って向こうの方にどんどん日本の企業の進出している方向の所です。そしてそこに入る前にサンフランシスコからポールハリスの眠っているシカゴの郊外のマウントホークという墓地をへて、それからエバンストンのロータリーのR Iの事務所のある所に行き、見学をさせて頂きました。ここも大変素晴らしく、エバンストンというのはシカゴのすぐ隣りにあり、犯罪のない、非常にきれいな町でした。そして、その屋上に上がってエバンストンを見た時に日本人のそこに勤めていられる事務員の方が「最近エバンストンも安全ではありません。ついこの間、殺人事件が起きました。いよいよエバンストンまで、色々なものが来るようですね。」と、こんな話をされていました。

余談ですが、その後、ロサンゼルス経由、アナハイムに入り10日間の缶詰にされて、勉強させて頂きました。ただ女房を連れていったので、生活は快適でしたが、毎日本会議と言語で分かれてセッションを行い、本会議が1日1回あるが、その本会議の私の席が毎日違う訳であります。今日はこっちにフランス人、こちらにイギリス人、明日はこっちへガーナ人、アメリカ人と毎日入替わり、朝起きて自分の席を確認して所定の時間までに入る。所定の時間前に入らないで一区切ついでから入りなさいというわけであります。そして私はあまり英語が出来ないので片言で色々な方と話をして非常に気苦労を感じていました。そして実に今、世界は197か198の国があります。ソ連が崩壊して、ロシア、或いはウクライナと色々分かれて今まで170数ヶ国だったのが197か198になったと思います。実にアナハイムに集合したのは149ヶ国のロータリアンであります。そしてその人達が、初めは、なじみがなかったが、段々と肩を叩き合い、握手をしてそして帰る、時には肩を抱き合っただけでまた会いましょうということでした。そしてお互いに名札が、私はセイジそれからR I会長はビル、ビルの本名は「ウィリアム、<sup>ビル</sup>ハントレー」であります。ビルというのはニックネームです。今でも全ての文章を本名では書いていません。ビルハントレーです。そしてビルと呼び合うのは、友達である、それはドクターでもなければ社長でもない、友達であるという表われであります。それを10日間色々な国の人と話をさせて頂きました。私はロータリーのような社会が作られたら世界から戦争がなくなり、そして考え方も恐らくひとつになるだろう……こんなことを感じました。そしてセッションそのものは、いわば手続要覧を勉強させられて、ただひとつ違うのは応用問題、こういう地域があるがこの地域をあなたならどのように指導致しますか?というような応用問題が毎日出されてそれを勉

強しました。これはいわば手続要覧を読めばわかる話であります。そして私は国際協議会の中で149ヶ国の方と本当に膝をまじえて、ある時はダンスをし、ある時は肩を叩き合っただけで本当の友達になれば世界はひとつになり、平和になるであろうと、大きな仕事をロータリーはしているなあと感じました。

もう1つは私が自分の部屋で勉強が終わるとテレビを見ます。私はCMテレビの会社をやっていますのでアメリカではほとんどCMテレビをやっていますので、40チャンネル位ありますがその中で日本語でやっているものがありました。英語、フランス語、ドイツ語はわかりませんので「日本語の番組? あっこれは何だろう」と、そして、我々のためにR Iが、「R Iが世界にどういふ奉仕をしているのか」という宣伝のVTRであり、それはドイツ語、フランス語、ポルトガル語、日本語、英語これで放送されていました。むしろ私は日本語ですが、他に見る番組がなかったので、40分間のこの番組を何回か繰り返し見ました。それで感じたことは、ロータリーのマークのもとで本当のロータリアンが自分の手でレンガを積み、学校を作っています。このひとつひとつが本当にその国に必要な事業をやっているということです。そしてそれを受けて、「ロータリーありがとう、ロータリーが掘った井戸で私の国の何百人が水を飲んで、命を救われています。本当にありがとう。そして字も書けない生徒を学校にやる事が出来る、本当にありがとう」という、奉仕を受けている国の人達の感情の高まりということを感じています。私は本会議に出て色々な国の人と話をしたり握手をしたり食事をしたり、本当にロータリーは素晴らしいというのは実は先進国の人ではありません。今、発展途上している国、この人達のロータリーに対する認識はすごく高いものです。日本を初めとしてイギリス、フランス、イタリア、アメリカは全部認識が失われています。したがって、既存のロータリーのメンバーが減っています。そして発展途上の国のロータリーがどんどん増えています。残念なことに、彼らは日本人が負担金を、「ああわずかだな、これしかR Iに納めていないのですか?」と行った会長さんのおいでになった時、日本人にとっては、ささいな負担ですが、そのお金が払えないで消滅しているロータリーが沢山あるという事実を報告しなければなりません。そしてその人達はロータリーに意義を感じていながらも維持できないでいます。そしてそれでもロータリーを何とか作ろうと言っているわけです。日本人は、第二次大戦、私は終戦当時、10歳でした。DDTを頭からかぶって、進駐軍の奉仕する物資を頂いて育ちました。脱脂粉乳も飲みました。その時、「進駐軍ありがとう」と、そして彼らは我々に敗戦で色々なことを教えてくれましたし、私は子供だったのでチョコやガムを頂きました。そして我々はその時、「お世話になったという気持ちがすでにないのではなからうか?」そんな気がします。あらためて「本当のロータリー」「ロータリーは素晴らしい」だから私は、自分が与えられた1年を、一生懸命に、恵まれた年だと信じて、頑張りたいと思います。

それから、6月の国際大会に台湾へ行って来ました。私は2560地区インターアクトが(台北市の少し上の方ですが…)そこと清伝商業学校に2年ほどお世話になっております。インターアクトの海外研修生で行ってそういう関係もありまして細渕ガバナーと栗山年度のバスターガバナーの洪さん(赤いという意味があるのでこれからの話の中では赤い洪さんと言います)と、私と同期の黄色の黄さん、私との4人で食事をする機会がありました。赤い洪さんは何代か前に大陸から台湾に渡った人で黄色の黄さんの方は蒋介石と一緒に大陸から渡ってきた中国人です。もとはルーツは一緒なのです。話の間で“日本人と台湾のかたは本当に良く顔が似ていますね”という話を私と細渕さんとしたのですが、赤い洪さんがにわかにか色がかわり「ノミニーあんたは違うよな、あんたは台湾人えないもん」と言うのです同じ民族なのです。こういう台湾では蒋介石と一緒に来た中国人、何代も前にポートビープルで渡ってきた中国人、この人達の感情にはこんな開きがあり、仲が悪いのです。「中世記念堂、5年たったらあれないかもしれないよ」と平気で言える今の台湾なのです。それまでは2・28事件(いわゆるたばこの販売権をめぐる国民党は台湾の人達を虐殺した事件で2万という人が行方不明あるいは殺された)それを忘れていない訳です。台湾の人達は原住民ではない。何代か前に渡ってきて、もう自分は台湾人だと思っている人達であります。従ってすごく仲が悪い。リトウキという総統が台湾を支配して以来、自由な言論が出来るようになった。「今こういう話をしても大丈夫なのですよ。素晴らしい国なんですよ。これを作ってくれているリトウキなんです」という話です。このリトウキというのは22歳まで日本人なのです。昭和20年まで…そして京都大学を出てショウケイコクに見い出され、副総統からショウケイコクが亡くなってから総統を引きついで今度自分の選挙で総統になったのですが当然今までの政権のかわりからいきますと、いわゆる台湾人と自認している中国人が台湾を治めるということはまず不可能だろうという話でした。私は大会の第一日目に残念ながら行けず、2回目の大会式に行きました。レンセンという首相が30分に渡ってリバービックタイワン(いわゆる台湾共和国を作る、今国連からはみだされている台湾、日本とも国交はありません)この台湾を何とかして下さいと訴えられました。実に私は感動を受けて帰ってきました。本当に国を憂えうといひますか、そういうのがひしひしと伝わり、今の政治家と比較して、日本にはああいう人はなくなったのだなという感じをもって帰りました。

もうひとつ、リンコウ体育館に行く時、リンさんという人が私達のノミニーに「これから行く体育館は個人のものでオウエイケイのもので、この人は台湾プラスチックの社長です、日本では松下幸之助が有名ですが日本以外に行くとオウエイケイの方が有名なのです」と教えてくれました。オウエイケイがこのプラスチック工場を政府の要請によって作り順調に行った時、ある脱税事件を起こしました。たぶん税務上の解釈の問題だと思っておりますが、その時オウエイケイのとった態度ですが、私財を全部台湾に寄付したそうで

す。むろん脱税の何十倍、何百倍かもしれません。そして台湾プラスチックの剰余金を全部国にはきだした。そして「私は裸一貫からもう一度鍛え直して企業経営にあたるんです」と言ったそうです。それがもとで台湾人は万雷の拍手を与えたそうです。そして今、世界でも指に入る大富豪として台湾の経済を引張っております。こういう方のお話です。もうひとつは黄色の黄さんから台湾にはショウゲンというすばらしい尼僧がいるという自慢話です。これは台湾で誇れる人です。実は台湾でノーベル平和賞にエントリーしたが残念ながら外れた話でした。どういうことをされる人かと聞くと、貧民に対する慈善事業をやっている人だそうです。その時はそうですかと帰ってきましたが頭の中に残っていたので日本に帰ってきてこの人の本があるかと捜しまして読んだところの話を申し上げたいと思います。

彼女は30年前ある産婦人科に行った時に血だらけの妊産婦が担ぎ込まれたがわずかなお金がないだけで手術を受けられないで戻されたという現実を見た時、自分の一生を貧民救済に当てたい。そして彼女が始めたのは、カレンの壇家の奥様方に「一日50銭私に与えて下さい」と言い、その50銭を元に貧民を救済するシステムを作る。ただお金をやるだけでなく最後まで面倒を見る。それはいいかげんな考えではなく、委員会を作ってどういう救済の仕方したらその人にとって一番いいかということが彼女のモットーであったそうです。

30年後の現在、去年の浄財が世界から集まったのは件数として300万件、集まったお金が200億とも、300億とも言われる金額だそうです。そして、ショウゲンさんは今でもわらじばきでカレンにいるそうです。こういう話を台湾で仕入れてきました。

私は、ロータリーの奉仕というのは、一体何なのだろうか?と、たとえばロータリー財団の米山の皆さんに、お願い致しますと申し上げたとします。ショウゲンさんのようにはいきませんが、皆さんにどのように奉仕の心をお願いしたらいいのか、そして自分自身、どのように実行したらいいのかという、ジレンマでいっぱいです。何とかロータリーらしいということは、どんなことなのだろうか?皆さんと一緒に、1年間考えながら本当のロータリアンとしての奉仕を考えていきたいとこんな風に思っております。まあ、あと1年ありますので結論はすぐに出ないかもしれませんが、私達は立派な服を着て、立派な商売をし、立派な家庭を持って、そして立派な車に乗っております。そしてロータリー財団、米山の委員長さんより言われたから仕方なく出すというのが今のロータリーではないかと思ひます。そして本当に知って頂いて、是非私達が本当の気持ちでそういう奉仕をしたいと思ひし、そういう風に私もなりたいし、そういう人が一人でも増えて頂ければ本当のロータリーが生まれるのかな?と思っております。自分を磨くと同時に、一生懸命、皆さんと語り合いたいと思ひています。

どうぞ1年、宜しくお願い申し上げます、終わりたいと思ひます。

ありがとうございました。

# ガバナー公式訪問懇親会スナップ

PM 6:00~ 於 松木屋




---

三条RC    7月27日例会    卓話 細井増雄会員

---

三条南RC    8月1日例会    卓話 羽溪憲明会員

---

8月8日例会    会員増強委員会

---

三条北RC    8月2日例会    卓話 会員選考委員会

---

8月9日例会    卓話 会員増強委員会

---